opusdei.org

## 22. グノーシス主義と は何ですか?

「グノーシス主義」の名前は ギリシャ語の知識を意味ある 「グノーシス」に語源があります。従って、グノーシス主 義者とは特別な知識を有しま れに従って生きている人を指 します。

2014/02/04

よって、専門用語の「グノーシス」 には軽蔑的な意味合いはありませ ん。アレキサンドリアのクレメンテ や聖エレナイオス等の何人かの教父たちはグノーシスを信仰によりイエス・キリストの知識を得たものという意味合いで語っています「真のグノーシスとは使徒たちによる教義であると聖エレナイオスは書いています」(AdvHaerIV33)。

専門用語の「グノーシス主義」が軽 蔑的な意味合いを有するようになっ たのは、西暦2世紀から4世紀の間 に、ある種の異端者が急増し同じ教 父たちが彼らをそのように呼んだか らです。最初にそのように命名した のは聖エレナイオスで、サマリアの シモンの異端(使徒言行録8,9-24) にその起源を見つけ、その追随者た ちがアレキサンドリア、小アジアや ローマで「あたかも木の子が地中か ら現れるごとく大量のグノーシス主 義者 | (AdvHaerIV33) が広がって いると語っています。聖エレナイオ スが引きつづき語るところによる と、このグノーシス主義者から聖エ

レナイオスが直接争っているウアレ ンティノス派が由来するとのことで す。また、その多さや異端の多様さ を次のごとく語り説明しています 「その共犯者の多くは、実際はすべ てが、指導者になりたがっている。 今まで信奉していた異端派から立ち 去り他の教義に基づく教えを企て、 そしてその教義に基づき更に新たな 教義をつくり、さらには全ては自分 たちが正統であり実際お互いに相容 れないような教義を自ら見出したと 主張しています | (Ad v Haer. 1.28.1) 。

あの異端者たち(特にローマの聖 ヒッポリュトスとサラミスの聖エピ ファニオス)と争わねばならなかか た聖エレナイオスや他の教父たちが 伝えるところによると、「グノーシ ス主義」と呼ばれるものの中に非常 に多くの分派があり指導者がいたの でこの総称的な形容詞でまとめられ ました。この中には次のものがあり

ます、分派としてシモン派 nicolaitas,オフィス派,ナース派セツ 派,peratas,バシリデース 派,carpocratianos,ウァレンティノス 派.marcosianos等があり指導者とし てはシモン,ケリントス,バシレイデー ス,カルポクラテース,ケルドーン,ウ アレンティノス,Tolomeo,テオドト ス,ヘラクレオン,バルダイサン等で す。1945年にナグ・ハマディ (高エジプト)で発見された「グ ノーシス主義 | の異端書は、約40 あるが皆同じような印象を受けま す。すなわち、それぞれは独自の異 端教義の傾向があります。

これらの多様な中で最も知られているのはウヮレンティノス派のグノーシス主義で、同時に最も大きな影響を及ぼしました。彼らは教会の中で「身を隠した猛獣」の役割を演じたと聖エレナイオスは語っています。かれらは教会と同じ聖書を持っていたが、反対の意味に解釈しました。

彼らによると、真の神は旧約の創造 主ではありません。天上の世界 (eones) の存在の中で種々のキリ ストを区別し、救済は物質の中に閉 じ込められた神の火花のようなも知 識を诵して得られると考え、キリス トの贖罪はこの知識を呼び覚ますこ とからなり、霊的〈pneeumatikol〉 な人間のみが救済されることになっ ていると考えています。エリート的 な性格と創造された世界に対する軽 視は、特にその異端者の考え方と 「グノーシス主義」の最も代表的な ものを形成しています。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/22-gunoshisuzhu-yi-tohahe-desuka/(2025/12/12)